作成：令和 5 年 1 月 19 日

最終改訂：令和 7 年 1 月 10 日

整理番号 01889

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）　**Alumina 036 Shapes**

アルミナ 036 造形品

| | | |
|---|---|---|
| 販売者情報 | 会社 | LECO ジャパン合同会社 |
| | 住所 | 〒105-0014<br>東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号<br>住友不動産芝ビル 4 号館 |
| | 担当 | SDS 担当者 |
| | 電話番号 | (03) 6891-5800　FAX 番号　(03) 6891-5801 |
| 製造者情報 | 会社 | LECO Corporation |
| | 住所 | 3000 Lakeview<br>St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A. |
| 推奨用途 | 分析試験用 | |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと | |

## 2. 危険有害性の要約

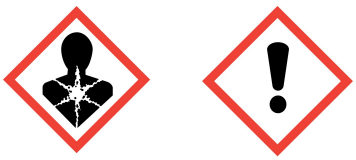
GHS 分類

健康に対する有害性　：特定標的臓器毒性（単回暴露）　区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性（反復暴露）　区分 1 (吸引：肺)

ラベル要素

絵表示



注意喚起語：　警告　危険

危険有害性情報：　呼吸器への刺激のおそれ。長期間又は反復暴露による臓器の障害のおそれ

注意書き：　【安全対策】

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/ス

プレーの吸引を避けること。取り扱い後は良く手を洗うこと。この製品を扱う時は飲食、喫煙をしないこと。

【応急処置】

吸引した場合空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断・手当を受けること。

【保管】

容器を密閉し、換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物及び容器を、地域、地方、国、国際規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

| | | |
|---|---|---|
| 化学物質・混合物の区別 | 混合物 | |
| 化学名 | 酸化アルミニウム | カオリン |
| 成分及び含有量(wt%) | 80 | 20 |
| 化学式又は構造式 | $Al_2O_3$ | |
| 官報公示整理番号 | | |
| 化審法 | 1-23 | |
| 安衛法 | 非該当 | 非該当 |
| PRTR 法 | 非該当 | 非該当 |
| CAS　No. | 1344-28-1 | 1332-58-7 |
| 国連分類及び国連番号 | 該当しない | 該当しない |

## 4.応急措置

| | |
|---|---|
| 吸入した場合 | 直ちに新鮮な空気の場所に移すこと。症状が悪化、又は継続する場合は医師の診察を受けること。 |
| 皮膚に付いた場合 | すぐに大量の水で十分に洗い流すこと。 |
| 眼に入った場合 | 直ちに流水で十分に洗眼する。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をよくすすぐ。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。 |
| その他の情報 | 気分が悪い時には医療アドバイスを受ける。 |

## 5.火災時の措置

| | |
|---|---|
| 消火剤 | 周辺火災に応じた消火剤を用いる。 |
| 使ってはならない消火剤 | 入手不可。 |

| | |
|---|---|
| 火災時の特有の危険有害性 | 火災時に健康に有害なガスが発生する可能性がある。 |
| 消火を行う者の保護 | 火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。 |
| 一般的な火災の危険性 | 異常な火災や爆発の危険性は報告されていない。 |

## 6.漏出時の措置

| | |
|---|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 関係者以外を退避させる。十分に換気して粉塵の吸引を避ける。清掃中は適切な保護具を装着する |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。 |
| 環境に対する注意事項 | 下水、河川、土壌等への排出を避ける。 |

## 7.取扱い及び保管上の注意

| | |
|---|---|
| 安全取扱注意事項 | 十分に換気する。粉塵の発生、蓄積を最小限にする。粉塵/ヒューム/ガス/蒸気/スプレーを吸入しないよう注意する。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。 |
| 安全な保管条件 | 換気の良い場所に保管し、使用、保管には気を配る。 |

## 8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

| 物質 | タイプ | 値 | 形状 |
|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム（CAS 1344-28-1） | PEL | 5 mg/m³ | 吸引性粉塵 |
| | | 15 mg/m³ | 総粉塵 |
| カオリン（CAS 1332-58-7） | PEL | 5 mg/m³ | 吸引性粉塵 |
| | | 15 mg/m³ | 総粉塵 |

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

| 物質 | タイプ | 値 | |
|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム（CAS 1344-28-1） | TWA | 5 mg/m³ | 吸引性粉塵 |
| | | 15 mg/m³ | 総粉塵 |
| | TWA | 50 mppcf | 総粉塵 |
| | | 15 mppcf | 吸引性粉塵 |
| カオリン（CAS 1332-58-7） | TWA | 5 mg/m³ | 吸引性粉塵 |
| | | 15 mg/m³ | 総粉塵 |
| | TWA | 50 mppcf | 総粉塵 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 15 mppcf | 吸引性粉塵 |

US. ACGIH Threshold Limit Values

| 物質 | タイプ | 値 | 形状 |
|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム（CAS 1344-28-1） | TWA | 1 mg/m³ | 吸引性粉塵 |
| カオリン（CAS 1332-58-7） | TWA | 2 mg/m³ | 吸引性粉塵 |

US. NIOSH Pocket Guide to Chemical Hazards

| 物質 | タイプ | 値 | 種 |
|---|---|---|---|
| カオリン（CAS 1332-58-7） | TWA | 5mg/m³ | 吸引性 |
| | | 10mg/m³ | トータル |

生物学的限界値　生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策　使用、加熱中は十分な換気を行う。

保護具

眼/顔の保護　サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手　適切な耐薬品保護グローブを着用する。

その他　適切な保護具を着用する。

呼吸器の保護　換気が十分でない場合、防じんマスク等適切な呼吸器を使用する。

熱的危険　必要に応じて熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項　取扱後、飲食、喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

## 9.物理/化学的性質

物理状態

形状　固体

色　白色

| | |
|---|---|
| 臭い | なし |
| 融点・凝固点 | 入手不可 |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | 入手不可 |
| 可燃性 | 入手不可 |
| 爆発下限及び爆発上限界/可燃限界 | 入手不可 |
| 引火点 | 入手不可 |
| 自然発火点 | 入手不可 |
| 分解温度 | 入手不可 |

| | |
|---|---|
| pH | 入手不可 |
| 動粘性率 | 入手不可 |
| 溶解度 | 不溶 |
| n オクタノール/水分配係数 | 入手不可 |
| 蒸気圧 | 入手不可 |
| 密度及び／又は相対密度 | 入手不可 |
| 相対ガス密度 | 入手不可 |
| 粒子特性 | 入手不可 |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | 通常使用、保管、輸送状態において安定、反応性なし。 |
| 化学的安定度 | 通常の状態で安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の条件下での使用で有害な反応は知られていない。 |
| 避けるべき条件 | 通常の使用環境では特になし。 |
| 混触危険物質 | 入手不可 |
| 有害な分解生成物 | 入手不可 |

## 11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

| | |
|---|---|
| 吸入 | 呼吸器へ刺激のおそれ。 |
| 皮膚 | 皮膚接触による有害反応は想定されない。 |
| 眼 | 直接接触は一時的な刺激を起こすおそれ。 |
| 飲み込んだ場合 | 経口摂取が主要な経路になるとは考えにくい。 |

| | |
|---|---|
| 物理的、化学的、有害性特性に関連した症状 | 入手不可 |
| 毒物学的影響 | |
| 急性毒性 | 入手不可 |
| 皮膚の腐食性/刺激性 | 入手不可 |
| 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 | 入手不可 |
| 呼吸器または皮膚感作性 | |
| 呼吸器感作性 | 入手不可 |
| 皮膚感作性 | 入手不可 |
| 生殖細胞変異原性 | 入手不可 |
| 発がん性 | IARC, OSHA, NTP に規定されていない |
| 生殖毒性 | 入手不可 |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 呼吸器刺激のおそれ |

| | |
|---|---|
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） | 長期間又は反復暴露による臓器の障害のおそれ |
| 誤えん有害性 | 入手不可 |

## 12.環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | この製品の環境有害性は分類されていない。ただし多量又は恒常的な流出による有害性を除外するものではない。 |
| 残留性/分解性 | 知られていない。 |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | 入手不可 |
| その他の有害影響 | この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は考えられていない。 |

## 13.廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 廃棄手順 | 内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。 |
| 残余廃棄物/未使用製品 | 地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。 |
| 汚染容器 | 利用できない |

## 14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

## 15.適用法令

水質汚濁防止法 法第 2 条 第 4 項 施行令第 3 条の 3

## 16.その他の情報

参考文献　本製品の英文 SDS(080317)　：LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート
化学便覧　：丸善
職場のあんぜんサイト　：厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム　：独）製品評価技術基盤機構

作成：令和 5 年 1 月 19 日
改訂：令和 7 年 1 月 10 日（法令見直し）

＊　記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。